



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社 エスライン
 コード番号 9078 URL <http://sline.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 白木 武

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,860	1.7	561	△37.0	605	△34.1	311	△45.5
2019年3月期第2四半期	24,451	5.6	890	41.9	918	40.9	570	35.2

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 267百万円 (△63.0%) 2019年3月期第2四半期 724百万円 (52.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	28.21	—
2019年3月期第2四半期	51.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	36,173	21,010	58.1
2019年3月期	36,678	21,108	57.5

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 21,010百万円 2019年3月期 21,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	3.8	1,550	△8.2	1,600	△8.9	980	1.1	88.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	11,095,203 株	2019年3月期	11,095,203 株
2020年3月期2Q	253,249 株	2019年3月期	63,446 株
2020年3月期2Q	11,026,985 株	2019年3月期2Q	11,031,806 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※当社は、株式給付信託(BBT)を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数および期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や堅調な企業業績を背景に消費の底堅さは継続しており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米中貿易摩擦等、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、消費税増税による個人消費の落ち込みが懸念される等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、ドライバーを中心とした労働力不足を補完するための備車費や外部委託費が増加する等、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、本年度を初年度とする中期経営計画（スローガン：「エスラインブランドの価値向上 “Think next Value”」）の経営目標の達成と企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益248億60百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益5億61百万円（前年同期比37.0%減）、経常利益6億5百万円（前年同期比34.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億11百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業等があります。

トラックによる企業間輸送を主とする輸送サービス部門では、適正水準への運賃改定や諸料金の収受などの増収に向けた営業活動を継続して進めてまいりました。しかしながら、5月と8月の大型連休が長期化したことによる営業日数の減少や、天候不順や消費マインドの冷え込みなどの影響により、輸送貨物量が伸び悩み、わずかの減収となりました。

商品保管や物流加工を行う物流サービス部門では、アパレル関連の物流加工業務が低調で減収にはなりましたが、先期に稼動した自動車関連部品の保管業務、飲料充填企業の増産に対応する飲料保管業務の新規受託や、本年5月に稼動した㈱エスライン郡上の医薬部外品の保管業務等、新施設を活かした物流サービスの稼動実績が順次業績に寄与した結果、増収となりました。

大型貨物の個人宅配と引越しを行うホームサービス部門では、取引先である家電量販店様の、特に白物家電の販売が好調であることに加え、本年10月の消費税増税前の駆け込み需要による販売数量の増加もあり、配送および設置業務が大幅に増加しました。また、配送料金の改定も増収に大きく寄与しました。

また、引越しサービスについては、「スワロー引越便」のPR活動の効果や、これまでの引越実績の評価等により、特に法人関係の引越受注が増加しました。これらの結果、ホームサービス部門は増収となりました。

しかしながら、費用面では、ドライバー不足への対応や休日の配送業務に対応するために、備車や外部委託業者への業務量が増加したことに加え、備車会社・外部委託会社・中継会社からの値上げ要請もあり、備車費・外部委託費の増加が、収入の増加を上回る結果となりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は244億33百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は7億8百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

[不動産関連事業]

不動産関連事業におきましては、当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。本年6月より㈱エスラインギフの旧西淀川支店（大阪市西淀川区）の施設の賃貸を開始しました。また、一部賃貸物件において、賃料の改定を実施いたしました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は2億51百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は1億29百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

[その他]

その他事業におきましては、旅客自動車運送事業および売電事業を営んでおります。旅客自動車運送事業におきましては、岐阜市内の高校や近隣の大学の通学バスや冠婚葬祭時の送迎バス等、地元に着着した運行業務に取り組んでまいりましたが、競輪場のファンバス運行を昨年6月に終了したことにより減収となりました。

また、売電事業におきましては、㈱エスラインギフの名古屋第1・第2センター、豊橋支店、豊田支店、豊田センターおよび㈱スリーエス物流の本社第1センターの計6か所で発電を行っております。（総発電量1,333.96kW）

この結果、その他事業の営業収益は1億75百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は39百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結資産合計は361億73百万円となり、前連結会計年度末比5億4百万円減少しております。この主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

また、連結負債合計は151億63百万円となり、前連結会計年度末比4億6百万円減少しております。この主な要因は支払手形及び営業未払金の減少と有利子負債の返済による減少であります。

連結純資産合計は210億10百万円となり、前連結会計年度末比97百万円減少しております。この主な要因は配当金の支払による減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より5億63百万円資金が減少し38億68百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億44百万円の収入(前年同期は12億86百万円の収入)となりました。この主な収入は税金等調整前四半期純利益と減価償却費の計上であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億25百万円の支出(前年同期は13億50百万円の支出)となりました。この主な支出は有形固定資産の取得であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億82百万円の支出(前年同期は21億97百万円の収入)となりました。この主な支出は借入の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年11月1日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,740	4,206
受取手形及び営業未収入金	6,031	5,768
貯蔵品	92	97
その他	600	635
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,464	10,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,581	8,587
機械装置及び運搬具(純額)	2,162	1,926
土地	10,813	10,813
リース資産(純額)	129	109
建設仮勘定	822	1,476
その他(純額)	175	181
有形固定資産合計	22,685	23,094
無形固定資産	97	96
投資その他の資産		
投資有価証券	1,354	1,277
退職給付に係る資産	52	49
繰延税金資産	158	155
その他	873	803
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	2,430	2,275
固定資産合計	25,214	25,466
資産合計	36,678	36,173

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,255	5,008
短期借入金	330	320
1年内返済予定の長期借入金	1,052	1,037
未払法人税等	340	164
賞与引当金	477	491
役員賞与引当金	46	20
設備関係支払手形	4	0
その他	902	1,239
流動負債合計	8,409	8,282
固定負債		
長期借入金	2,040	1,872
繰延税金負債	1,352	1,329
役員退職慰労引当金	108	73
役員株式給付引当金	24	32
退職給付に係る負債	2,797	2,760
資産除去債務	498	500
その他	337	313
固定負債合計	7,160	6,881
負債合計	15,570	15,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,237	2,237
資本剰余金	2,946	2,946
利益剰余金	15,746	15,857
自己株式	△77	△243
株主資本合計	20,853	20,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	327
退職給付に係る調整累計額	△123	△116
その他の包括利益累計額合計	254	211
純資産合計	21,108	21,010
負債純資産合計	36,678	36,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	24,451	24,860
営業原価	22,685	23,443
営業総利益	1,765	1,416
販売費及び一般管理費	875	855
営業利益	890	561
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	14
受取賃貸料	13	15
持分法による投資利益	—	0
その他	18	27
営業外収益合計	47	58
営業外費用		
支払利息	4	4
売上割引	1	1
債権売却損	8	8
持分法による投資損失	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	18	14
経常利益	918	605
特別利益		
固定資産売却益	16	15
特別利益合計	16	15
特別損失		
固定資産除売却損	43	136
減損損失	—	8
特別損失合計	43	144
税金等調整前四半期純利益	892	477
法人税等	321	166
四半期純利益	570	311
親会社株主に帰属する四半期純利益	570	311

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	570	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	△50
退職給付に係る調整額	13	7
その他の包括利益合計	153	△43
四半期包括利益	724	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	724	267

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	892	477
減価償却費	814	881
減損損失	—	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	△26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	40	14
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△17	△25
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	9	8
受取利息及び受取配当金	△14	△14
支払利息	4	4
持分法による投資損益(△は益)	4	△0
有形固定資産売却損益(△は益)	△16	△15
有形固定資産除却損	43	135
営業債権の増減額(△は増加)	236	263
たな卸資産の増減額(△は増加)	△31	△4
営業債務の増減額(△は減少)	△172	△247
その他	△155	56
小計	1,630	1,479
利息及び配当金の受取額	17	17
利息の支払額	△4	△4
法人税等の還付額	81	108
法人税等の支払額	△437	△456
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,286	1,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△54	△37
定期預金の払戻による収入	32	11
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△1,358	△1,176
有形固定資産の売却による収入	17	16
無形固定資産の取得による支出	△17	△3
その他	31	65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,350	△1,125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△10
長期借入れによる収入	2,900	400
長期借入金の返済による支出	△492	△583
自己株式の取得による支出	△0	△167
配当金の支払額	△188	△199
その他	△22	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,197	△582
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,133	△563
現金及び現金同等物の期首残高	4,009	4,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,142	3,868

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	24,034	232	24,267	184	24,451	—	24,451
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,034	232	24,267	184	24,451	—	24,451
セグメント利益	1,066	114	1,180	40	1,220	△330	890

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△330百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	24,433	251	24,684	175	24,860	—	24,860
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,433	251	24,684	175	24,860	—	24,860
セグメント利益	708	129	838	39	877	△316	561

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、売電事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△316百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。